

ワクワクながわ新聞 第129号

発行日：平成29年3月1日(水)

発行者：若林ひろき 品川区議会議員

ブログ：<http://ameblo.jp/wakabayashi-hiroki/>



ちょっといい話

同じことを繰り返せる人間が必ず伸びる。「またやらなきゃいけないのか」と思った人間と、「またできるんだ」と思った人間の差だ。仕事も「また、この仕事ができるんだ」と思ったら、中身が濃くなるんですよ。難しいことを一生懸命やるよりも、簡単なことを一生懸命やる方が難しいんですよ。(元世界チャンピオン・輪島功一さん)

僕は65歳の時、ひどいメタボで裏山にも登れない体でした。そこでまず、健康体に戻るために運動などの体づくりからはじめ、少しづつ高い山に登れるようになりました。(冒険家・三浦雄一郎さん)

品川区平成29年度予算(案)

前号に引き続き、新規・拡充のサービス・事業を紹介します。

かけ・擁壁の改修工事に助成

東五反田や上大崎などにある急傾斜地崩壊危険箇所(43カ所)のがけ等改修工事費用に助成金が設けられます(費用の1/3、上限500万円)。また、道路や施設に面するがけ等の工事も対象になります(2m超の大谷石・自然斜面、費用の1/3、上限200万円)。その他、技術的アドバイスをする専門家を、2m超のがけ等所有者に派遣するアドバイザー支援も行われます。

子ども食堂

地域で子どもたちを育む拠点として「子ども食堂」の開設を支援します。フォーラムの開催や区民と団体等とのネットワーク、フードバンクの構築等に取り組みます。



教育格差解消へ学習支援

ひとり親家庭等や生活保護世帯などで、大学を目指す高校生を応援します。子どもたちには①きゅりあんに自習室(平日18時~20時)を設け、学習支援ボランティアがサポート。②現役大学生等の学習指導・進路相談。③大学キャンパスや区内企業見学。親には①区相談員の面談、修学資金の情報提供。②面談等進学サポート。



どこでもネット学習

タブレット端末を31校に導入します。教室や体育館にも持ち出して活用します。また、22校でパソコンを増設し、PC教室で1人1台の環境を作ります。さらに、8校で無線LANを整備します。



認可外保育料にも助成

認可保育所などに入れなかった家庭が、認可外保育施設を利用する場合に保育料を助成します。月額で0歳児5万円、1歳児4万5千円、2歳以上4万円。対象施設は、都の基準を満たした区内11施設の他、区外の施設も対象となります。※認証保育所は既に助成制度があります。

支え愛・ほっとステーションが大崎第1地域センターにも

ステーションは、社会福祉士という専門コーディネーターが常駐し、高齢者などの身近な相談場所で、生活をサポートするところです。大崎第1地域センター等にも設置され、全区整備が完了です。①元気な方はボランティア(地域支援員)登録してください。②サービスを利用したい方は「ほっと・サービス」。地域支援員が30分200円で簡単な手伝いをします。買い物代行、電球交換、ゴミ出し、病院付き添いなどなど。③「定期訪問」は、月1回程度、地域支援員が自宅を訪問、こちらは無料。訪問はどうも…という方は、「定期電話」もあります。④「緊急通報システム」の申請も行っています。(要介護認定を受けている方は、在宅介護支援センターで実施)

(つづく)

これを見たときに、何が何だかわからなくなってしまうことがあります。たとえば、「この人は、なぜかいつも笑っている。」など、その人の行動や外見だけを見て、その人の内面を理解しようとするときです。しかし、内面を理解するためには、外見だけでなく、行動や言葉、行動の背景などを一緒に見て、総合的に判断する必要があります。つまり、内面を理解するためには、外見だけではなく、行動や言葉、行動の背景などを一緒に見て、総合的に判断する必要があります。

たとえば、「この人は、なぜかいつも笑っている。」など、その人の行動や外見だけを見て、その人の内面を理解しようとするときです。しかし、内面を理解するためには、外見だけでなく、行動や言葉、行動の背景などを一緒に見て、総合的に判断する必要があります。つまり、内面を理解するためには、外見だけではなく、行動や言葉、行動の背景などを一緒に見て、総合的に判断する必要があります。

論語
〔金谷治／岩波文庫〕その4
私の本棚